**秋さけ学習指導案**

指導者：

**１．教材名**：秋さけのひみつを探ろう！（オリジナルスライド及び動画教材）

**２．授業の目標**

（１）身近な海の生き物にはどのような秘密があるのかを知ることができる

（知識及び技能）

（２）授業内で問われることに対して、自分の考えを言語化し、発表することができる

（思考力,判断力,表現力）

（３）海の生き物がどのように生きているのかに対して、関心をもって調べることができる（学びに向かう力,人間性等）

**３．本時の目標**

身近な生き物である秋さけのひみつを知り、自分の発見や感想を述べることができる。

**４．本時の展開**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 児童の学習活動 | 指導上の留意点 | 児童の反応 |
| １．本時のめあてを確認する。  身近な生きものである秋さけのひみつを探ろう。  ２．秋さけに関して知っていることを発表する。  ３．動画①を見て加工品として用いられる秋さけの秘密を知る。    ４．動画②を見て秋鮭の栄養を知る。  ５．なぜこんなにもたくさん秋さけが食べられているのかを考えた後に動画③を見る。  ６．動画に登場した秋さけとはじめに想像した秋さけの姿を比較して違いを発表する。  ６．カラフトマスとベニザケが卵を産むときにどのような変化をするのかを予想し、動画④-1を見る。  ７．そんな秋さけの漁獲量が減っている理由を予想して発表する。  ８．川に住んでいる魚を淡水魚、海に住んでいる魚を海水魚というんだ。じゃあ秋さけはどっちだろうと問う。  ９．動画④-2の後半を見て秋さけの一生を知り、漁獲量が減っている理由を改めて考える。  １０．動画⑤を見て、秋さけがどうやって育てられているのかを知る。  漁獲量が減ってしまっている問題を解決しようとする人々の動きに思いを巡らせる。  １１．動画⑥を見て、秋鮭漁が実際どのように行われているのかを知る。  １２．動画⑦を見た上で、今日の授業の振り返りの記入と確認テストを実施（または宿題）とする。 | ◯ 想像を広げられるようにいくつかの観点を示す。  ・見た目（大きさは？色は？形は？）  ・生息地（海？川？どう成長する？）  ・料理（どんな料理？栄養は？）  ○ 事前に出した料理名と比較しながら、児童が用いられる料理の幅の広さに気づかせる。  ○ 身近な料理を例に出しながら、そこには栄養がたくさん含まれていることを確認させる。  ○ 動画に登場した秋さけの画像を提示し、観察する時間をつくる。  ○ また、複数の種類のさけを比較して、その違いに注目させる。  ○通常時の姿を提示した上で、産卵期にどのような姿になるのかを予想させる。  ○ ワークシートを用いて、絵に描かせる。  どうして秋さけの漁獲量は減っているのだろう？  ○ 冒頭の料理の話題と関連づけながら、児童にとって身近な問題として提示する。  ○ グループで予想して、発表させる。  ◯意見を言いやすい雰囲気作りに努める  ○ 補足情報を提示し、秋さけの一生に対する関心を広げる。  ・元の川に帰ってくる：98％  ・卵を産みに帰ってくる：0.5％  ○昔からの人類との関わりの深さを改めて実感させる。  ○ 再度はじめの料理の話に立ち返り、いまでも秋さけを食べることができている理由に気づかせる。  ○当たり前に毎年食べている秋鮭は、さまざまな人々の力で育てられていることに気づかせる。  ○秋鮭漁の方法をしる。  　雄と雌の簡単な違いを学ぶ。  ○今日の授業を通してはじめて知ったことや感想を記入させる。 | ・自分とおなじくらいの大きさかな  ・身が赤いイメージ  ・給食でも出てくる  ・川で暮らしている？  ・食べたことある！  ・山漬けってはじめて聞いた！  ・いろんな料理ができるんだ！  ・やっぱり栄養があるんじゃない？  ・あの料理に入っていた秋さけにはこんなにも栄養があったんだ！  ・想像以上に大きかった！  ・おなかのところはこんな色なんだ！  ・こんなにもいろんな種類の秋さけがいるのか！  ・思っていた感じとちがう！  ・なんで変わるんだろう？  ・栄養があるからほかの魚に食べられてしまった？  ・海が汚くなって暮らせなくなった？  ・環境破壊があったから！  ・ふだんから食べている秋さけってそんなにすごかったんだ。  ・そんなに昔から人は秋さけを食べていたんだ。  ・そんなに昔から人工で孵化させているんだ  ・だからいまでもこうして秋さけを食べることができているのか！  ・人口的に卵から育てられているなんて知らなった！ |